



震災資料保管庫 平成23年1月より 日曜日も一般公開を開始

～1月16日（日）から毎月第1・3日曜日も一般公開～

●震災発生 15 年を機に、昨年末リニューアルし平成22年7月以降第1・3水曜日に開館をしている『震災資料保管庫』について、より多くの一般の方々に見学していただくため、平成23年1月より日曜日の一般公開を開始します。

※『震災資料保管庫』は、兵庫県南部地震で被災した阪神高速道路の実際損傷した構造物を保管・展示している他に例をみない施設です。

【見学者受付方法】

- *事前予約制で、ホームページ上のみの受付です。
- *開館日は毎月第1・3水曜日・日曜日
(毎年1月の第1水曜日・日曜日は休館します)
- *時間は、10:30～、13:30～、15:30～
(1日3回 所要時間は約1時間程度)
- *定員は1回あたり20名です。
- *敷地内に無料駐車場があります。



阪神高速被災構造物(震災資料保管庫内)

●詳しくは弊社ホームページ (<http://www.hanshin-exp.co.jp>)、または(財)阪神高速道路管理技術センターホームページ (<http://www.tech-center.or.jp/japanese/hokanko/>) をご覧下さい。

■「震災資料保管庫」は、阪神淡路大震災での被災・復旧経験を風化させることなく語り継ぐため、平成11年10月に開設し、行政関係者や専門技術者、小学校の地震防災学習の観点での見学など、多くの方々にご来場頂いています。また、平成21年12月には一般の方々や未来の技術者である子供たちにもわかりやすくご覧頂くためのリニューアルを行いました。